

登山月報

田中文男会長退任挨拶	1
平成23年度競技委員総会開催	2
山岳切手シリーズの発行について	3
新連載 Mountain World 第30回	4
JMA	5
寄贈図書	7
編集後記	8

会長退任のご挨拶

田中 文男

2011年5月15日をもって、5期10年間務めさせて頂いた日本山岳協会会長職を無事退任させて頂きました。長い間、ご支援、ご協力下さった方々に心からお礼と感謝を申し上げます。

思えば1970年代に遭難対策常任委員として初めて協会業務に関係して以来、常務理事としては遭難対策委員長、更に財務部長等を務めさせて頂きました。この間、渡辺公平氏、今井田研二郎氏、鎌田久氏、斉藤一男氏、坂口三郎氏といった5名の会長の方々にお仕えし、ご一緒に仕事をさせて頂きました。図らずも坂口三郎会長時代は副会長を3期6年間務めさせて頂き、裏方としての業務を果す事もできました。その後、浅学非才の身でありながら会長にご推挙頂き、何の仕事もできませんでしたが気がつくと10年が過ぎ去ってしまいました。私自身、3期6年を終了した時に退任を固く決意しておりましたが周囲の事情でそれがかなわず、4期に入り、更に今日に及んでしまいました。

思えば鎌田久会長時代、わずか1、2名の職員の給料の支払いに頭を悩ましたり、財政問題では、加盟岳連の方々からいつも

厳しいおしかりを受けるという苦難の時代もありました。しかし、皆様のご協力が無事乗切の事ができ、昨年度は創立50周年を迎える事もできました。祝賀会には一競技団体の周年事業ではあり得ないと言われた皇太子殿下のご出席を賜わり、日本山岳協会の名を広く高める事もできました。これらは全て皆様のお力添えがあったから実現できた事で、本当に有難い事と思っております。

本年度からは神崎忠男氏が新会長にご就任され、尾形好雄氏には専務理事として業務の全てを見て頂ける新体制となりました。事務局も6名体制となり加盟団体の方々には更なるサービスと指導が行き届くと思っております。また公益法人化を目指し、皆様には更なるご協力を求める事も多々あるかと存じます。

どうぞ新体制を支えて下さると共に、今後とも必要とされる組織としての確立にご支援をお願い申し上げます。

何もできなかった自分自身を深く反省すると共に、今日まで支えて下さった方々に再度お礼を申し上げ、私の退任の挨拶とさせて頂きます。

長い間、本当にありがとうございました。

平成23年度競技委員総会を開催

日時:平成23年4月24日 10:30～15:30

場所:岸記念体育館504・505号室

参加者:田中文男、高山雅夫、北山真、寺内丈行、安形康、山本和幸、三森一男、仙石富英、森庄一、松田龍彦、山納秀俊、四戸義継、齋藤昌之、菅野富寿、佐久間利美、土屋正昭、目次俊雄、渡辺真二郎、嶋原哲也、畑中由実、岸健次、佐原晴人、戸田大輔、松尾浩志、野村和弘、小林広幸、加藤宗利、松下喜美子、前田善彦、白子欽也、山田佳範、大櫃静雄、妹尾東祐、京才昭、古林善明、上田幸一郎、小濱愛、松本一志、武末良樹、松崎文彦、齊藤弘毅、滝石裕一

定刻、日山協競技常任委員、全国競技委員は着席し、平成23年度日山協競技委員総会が開始された。

松田龍彦常任委員が司会を行ない、今回の東日本大震災で亡くなられた多くの人々や行方不明者に対して、黙祷を行なった。

始めに、田中文男日山協会長より、「国体のクライミング競技が定着してきたが、国体を母体としてクライミング競技の発展がある。国体を継続的に行なう為には指導者の育成にも力を入れて行なう必要がある。また、アイスクライミングやトレイル・ランニングも含めて、まだまだやらなければならない事が沢山ある。5月の日山協総会で退任するが、今後の競技については皆さんの双肩にかかっている」との挨拶があった。

次に高山雅夫競技委員長より「国体規則集の変更など、今後の国体に於ける山岳競技を継続的に進めるために、監督の資格、選手登録についても積極的に進めなければならない」との挨拶があった。

議長は高山雅夫競技委員長が選出され、議長席について。

議事に入る前に、司会より定足数について、出席委員34名、委任委員9名、欠席4名により、この日の総会は成立している旨示された。

議案1 平成22年度業務報告

(1)平成22年度競技委員総会についての報告がされた。

(2)毎月行なわれている日山協競技委員会について報告された。

(3)競技委員会ブロック別研修会報告

三重県山岳連盟より、地方岳連では研修会参加者を集めるのに大変苦労している。その上、研修会会場費や参加料を取る事は財政的にも厳しいので、今後日山協で補助出きる様に検討してもらいたい旨、発言があった。

松田常任委員より、平成22年度から事務の煩雑を解消する為に運営認定証を研修会後に参加者に渡しているが、事前に参加者の認定証を作成するために

も、研修会申込み期限は厳守でお願いしたい旨、説明があった。

(4)第65回「ゆめ半島千葉国体」実施報告(千葉県山岳連盟)

目次常任委員より説明があった。

以上、議案1については満場一致で承認された。

議案2 平成23年度競技部業務計画

高山委員長、北山副委員長、寺内副委員長よりそれぞれ説明があり満場一致で承認された。

議案3 第66回「おいでませ！山口国体」準備状況報告

山口市国体推進局上田氏より説明があり、経費削減のために、実施要綱はインターネット配信にしたい旨、説明があった。また、古林競技委員より千葉国体に参加した山口県の選手が選手資格違反で日体協より処分された件について、日山協及び山岳関係団体にその経緯を説明すると共に、ご迷惑をおかけしましたと謝罪した。その他、山口国体に使用するリード壁は2年前に完成しているが、ボルダー壁は4月末完成予定との報告があった。

以上、満場一致で承認された。

議案4 次期開催県準備状況

(1)第67回岐阜国体

岐阜国体は仮設の壁を作り開催する旨、説明があった。

(2)第68回東京国体

現在、開催地の東久留米市と東京都山岳連盟との間で調整中。

以上、満場一致で承認された。

議案5 日山協競技委員会の組織改編について

寺内副委員長より、トレイル・ランニング小委員会が追加された旨、説明があり、満場一致で承認された。

議案6 平成23年度(山口国体)からの国体競技規則集の一部改訂について

森庄一常任委員より説明があり、満場一致で承認された。

議案7 平成23年度日山協公認クライミング審判員・ルートセッター・競技運営員の認定、登録について

安形常任委員より説明があり、満場一致で承認された。

議案8 日体協公認山岳指導員(クライミング指導員)制度について

永井指導委員長より説明があり、満場一致で承認された。

議案9 平成23年度選手強化について

北山副委員長より説明があり、経費節減のため、派遣人数、監督引率を縮小する事が報告され、これまで

のSランク(野口、堀、安間)、Aランク(小林、松島、小田)のそれぞれ3名は維持するものの、Bランクでは男子20名を15名に、女子15名を10名に縮小する事など説明した。

寺内副委員長より、アイスクライミングについては現在八ヶ岳のアイスクャンドルが招致の意志があるが、会場へのアクセス等を考え、現在検討中である事を報告された。

以上、満場一致で承認された。

議案10 第2回全国高校生クライミング選手権大会について

高山委員長より説明があり、昨年の実績を踏まえ、ぜひともこれを継続して行いたい旨、説明があり、満場一致で承認された。

議案11 国体山岳競技地区別出場都道府県割当数について

寺内副委員長より説明があり、特に第71回岩手国体(平成28年)は、今回の大震災により経済的にかなり厳しく、岩手県は国体の全ての競技について開催を断念したが、他県で開催するにしても出場枠に変更がない旨、説明があり、満場一致で承認された。

議案12 平成23年度国体山岳競技ブロック大会の開催方法について。

今回の東日本大震災を受け、特に東北ブロックはブロックの開催が危ぶまれている。今年の東北ブロック開催県である宮城県では、施設が利用出来なくなった為に、開催場所を他県にお願いするか、または競技を縮小(リード競技のみ、あるいはボルダリング競技のみ)しての開催、それでも厳しい場合はブロック大会そのものを開催しないで、ブロック全体でそれぞれの選手の過去1年間の成績を踏まえて代表選手を決定するなど、臨時の処置を考えている旨、説明があった。

現在、宮城県は岩手県と交渉中であるが、経費の面等を考えて5月の始め頃までに結論を出す旨、説明があった。

以上について、満場一致で承認された。

その他

JOC参加について、山本常任委員より説明があった。

以上をもって、午後3時30分に平成23年度日山協競技委員総会を閉会した。(競技委員:寺内文行)

「山岳切手シリーズ」の発行について

山岳切手サポート委員長 田中 文男

過日来、日本で山岳切手が発行されるという情報を皆さんにはお伝え致しました。

ご承知と思いますが、私共の上部団体である(財)日本体育協会と(財)日本オリンピック委員会が本年創立百周年を迎えます。私自身、3年前からこの記念事業に参画させて頂き、現在祝賀式典部会長を務めさせて頂いております。この部会等がまだ準備委員会だった当時、記念事業のひとつとして記念切手の発行を提案致しました。これは私が少年時代から今日まで切手のコレクターだったからです。

幸い私の意見が通り、郵便事業会社の承認が得られて、7月8日に発行される見込みとなりました。これらの御縁で、私共の日本山岳協会の創立50周年を記念した切手はどうかと思いましたが、これはさすがに無理な話で、当然不可能でした。

しかし、日本山岳協会の創立50周年とはいきませんでした。このほど郵便事業会社によって「日本の山岳切手」が発行される事が決定致しました。5回のシリーズで、1年に1回発行されます。1シートは10の図柄からなり、47都道府県から必ずひとつの山が選ばれる予定になっております。山の選定についてはすでに皆さんのお知恵を借り、その県で最も高い山、最も人気のある山、最も有名な山、切手に取上げて貰いたい山、などを参考にして選んでおります。(第

1回目は9月22日に発行の予定)

私自身、コレクターから製作する方にまわって、少しでも良い「山岳切手」が完成するように裏方として協力したいと思っております。ただ選ばれた山々をどう表現したら美しい切手が仕上がるかは時には皆さんのお知恵や力を借りなければなりません。過日の評議員会や3月の総会でもお知らせしましたが、日本の山岳切手サポート委員会を立ち上げました。今後共お手伝い下さるようお願い致します。ただ、これは日本山岳協会の事業ではありません。それをご承知下さい。

蛇足ですが、昨年の千葉国体の記念切手には日本で初めてクライミング競技が図案化され切手として採用して頂きました。すでに縦走は第7回国体切手に登場しております。

なお、日本の切手に最初に山が登場したのは1922年、富士山でした。

また翌1923年、当時皇太子だった昭和天皇が台湾を訪問され、記念切手も発行されました。図柄は当時の新高山(現在は玉山・ユーシャン)です。これが日本の記念切手に登場した最初の山でした。

また、補足ですが、今回の東日本大震災の復興を手助けするため、寄付金付のはがきが6月1日に、切手が6月21日に発行される予定です。

第30回 Mountain World

エアハルト・ロレタン逝く

池田常道

スイスのガイド、エアハルト・ロレタンが亡くなった。4月28日、ベルナー・オーバーラントのグロス・グリュンホルン（4043m）をガイド中に転落死したのである。

ジュネーブ在住の38歳女性を伴ったロレタンは、前夜を標高3048mのフィンスターアールホルン小屋で過ごした。目標への出発地点としては、通常のコンコルディア小屋より遠いが、翌朝6時に出発し、グリュネックホルン北東のコルにスキーをデポした。通常ルートの南西稜は山頂まで300mの標高差だが、昼ごろ3800m付近で原因不明の墜落を喫し、2人とも北西壁側に200m落ちてしまった。事故を目撃したパーティの通報でヘリが出動したものの雲に遮られて近づけず、スキーで駆けつけた救助隊が午後4時になって現場に到着した。このときロレタンはすでに息がなく、クライアントは重傷を負って病院に収容された。

ロレタンは、メスナー、ククチカに次いで3番目に8000m峰×14座完登を果たした人物として知られる。1982年のナンガ・パルバットを皮切りに1995年のカンチェンジュンガまで13年間で達成したものだ。全14座が無酸素、新ルートが3座、アルパイン・スタイルが7座と、全二者に引けを取らない内容である。

ロレタンは11歳でクライミングを始め、81年にガイドとなった。8000m峰へのデビューは1982年のナンガ・パルバット西壁。翌年のバルトロ遠征ではガッシャブルムⅠ・Ⅱ峰とブロード・ピークを半月のうちにアルパイン・スタイルで連続登頂し、その名を知られた。1シーズン3座登頂は史上初めての快挙だった。84年にはアンナプルナⅠ峰の東稜を初登攀してそのまま北面へと縦走している。

85年12月にはダウラギリⅠ峰東壁をアルパイン・スタイルで登った。夜間登攀をまじえた速攻戦術は翌年のエヴェレストでも採用され、北西壁日本ルートを44時間で往復している。雪が締まる夜間登攀をまじえることでスピードアップを図る戦法は、スティープ・ハウスらが最近アラスカなどで採用して



1985年秋「ヒマラヤン・サミット」出席時のエアハルト・ロレタン 岩と雪117号より

知られるようになった「ライト&ファスト」の先駆者といっ
てよい。

1990年にはチョー・オユーとシシャパンマの南西壁をアルパイン・スタイルで初登攀したが、後者は中央峰で終わっていたため、あらためて95年に主峰を登りなおしている。91年には今日まだ登られていないマカルー西壁ダイレクトをアルパイン・スタイルで7800mまで肉迫したが、結局西稜に転じて頂上に立った。

■ロレタンの8000m峰登頂記録

- 1982.06.10 ナンガ・パルバット（8126m）
- 1983.06.15～29 ガッシャブルムⅡ峰（8035m）、
同Ⅰ峰（8068m）、ブロード・ピーク（8047m）
をすべてアルパイン・スタイルで連続登頂
- 1984.04.30 マナスル（8163m）
- 1984.10.24 アンナプルナⅠ峰（8091m）東稜から
北面へと縦走
- 1985.06.07 K2（8611m）
- 1985.12.08 ダウラギリⅠ峰（8167m）東壁から
アルパイン・スタイル
- 1986.08.30 エヴェレスト（8848m）北西壁を往
復44時間のアルパイン・スタイル
- 1990.09.20 チョー・オユー（8201m）南西壁を
アルパイン・スタイルで初登攀、続くシシャパ
ンマは南西壁から中央峰（8008m）まで
- 1991.10.02 マカルー（8463m）西壁7800mで断
念後西稜からアルパイン・スタイルで登頂
- 1994.10.01 ローツェ（8516m）
- 1995.04.29 シシャパンマ（8027m）
- 1995.10.05 カンチェンジュンガ（8586m）で14
座完登に成功

日時 平成23年4月14日(木)
18:00～20:50
場所 岸記念体育会館103会議室

出席者 田中会長、内藤副会長、
粟飯原副会長、神崎副会長、本
木副会長、西内、仙石、佐藤、
高山、堀井、尾形、相良、谷口、
寺内、永井、長谷川各常務理事
委任 青木、北山常務理事
(18名中16名出席)

1. 専門委員会動静

3月常務理事会以降
(3月4日～4月13日)

〔報告〕

(1)指導委員会

3月7日(月) 出席者12名
ア 氷雪技術研修会報告(大山)
イ 2月常任委員会議事録確認
ウ 遭対委員会との合同会議報告
エ 競技委員会との合同会議報告
オ 2月常務理事会報告
カ 公認スポーツ指導者登録管理
システムの刷新について
キ オフィシャルブック改訂(案)
について
ク 氷雪技術研修会について
・八ヶ岳(3/19-21)
・富士山(3/19-21)
コ 指導者認定について
・上級指導員:山口2名、東京7名
・指導員:山口2名、東京10名、
愛知3名
サ 23年度指導委員総会について
・6/12～13 海員会館(晴海)
シ スポーツクライミング指導要
項について
(2)国際委員会
3月8日(火) 出席者11名
ア 平成23年度委員総会と海外
登山遭難対策研究会について
・日程及び講師案について
イ 海外登山女性懇談会及び海外
登山技術研究会について
・日程及び講師案について
・石井グループとの共催について
ウ その他
・50周年記念事業・海外登山
クロニクル・トークショー慰

労会(3/19)について
・第7回山岳スキー競技選手権
について
(3)指導委員会
4月4日(月) 出席者13名
ア 3月常任委員会議事録確認(1
部変更で承認)
イ 氷雪技術研修会(富士山、八
ヶ岳)中止の件
ウ 第2回理事会・臨時総会報告
・ハイキング・インストラクター
制度(23年度中に(案)を作成)
・福井岳連の災害ボランティア
派遣について
・日山協の東日本大地震義援募
金について
エ 上級指導員及び指導員の専門
科目修了書発行
上級:廣川健太郎、竹内豊、小
池正器、道家博司、前田恵久、
角屋貴良、小林政彦(以上、東
京)、大岡一史、村岡浩二、池
本貴浩、城代剛、水廣真紀子、
木村政雄(以上、山口)
指導員:市川英治、平林高志、
小俣恭子、平塚幸則、佐藤進一、
高橋久美子、大島俊男、武田耕
治、藤田幸信、和田博文(以上、
東京)、大迫淳一、宮森淳一(以
上、山口)
オ 平成23年度指導委員総会に
ついて
カ 義務研修について
キ 指導者認定について
・上級指導員:神奈川1名
・指導員:北海道23名、神奈
川3名
・主任検定員合否理由通知の発
送(4/16)
ク SC指導員養成講習会について
・千葉:7/16～17、7/30～31
・兵庫:8/18～21
ケ SC検定基準(指導員、上級
指導員)について
コ 登攀研修会について
・宮城への確認
サ 規約及び指導要項の改訂につ
いて
シ スポーツ指導者データベー

スについて
ス アスレチックトレーナー受講
申請承認について
成田英世(整形外科医院勤務/
埼玉県在住)
セ SC主任検定員の認定(3/
5・6の合同検定委員会で認定)
福井会場:山森正之(山梨)、
傘木靖(長野)、小坂秀己(鳥取)
宮城会場:広畠裕士(茨城)、
阿部茂雄(秋田)、羽鎌田裕子(千
葉)
(4)国際委員会
4月12日(火) 出席者7名
ア 平成23年度委員総会兼海外
登山遭難対策研究会について
6/18(土)～19(日)、山梨・南ア
ルプス芦安山岳館
イ 海外登山女性懇談会について
12/6(火)、「アースプラザ」(ICI
石井グループ協賛)
ウ 海外登山技術研究会について
2/19(日)、「アースプラザ」(ICI
石井グループ協賛)
エ その他
・第7回山岳スキー日本選手権
大会の中止について(報告)
(5)広報委員会
4月12日(火) 出席者6名
ア 『登山月報』4月号(505号)
の編集内容について
・平成22年度第2回理事会、臨
時総会報告
・平成23年度主な事業計画
・平成23年度収支予算グラフ
・Mountain World
・ピオレドール報告(谷口けい)
・「山の切手」発行について
・HPについて
・JMA
イ ホームページ
・HPのリニューアルについて
(6)普及委員会
4月12日(火) 出席者6名
ア 平成23年度「ジュニア登山
教室 in 立山」について
・募集要項の検討
・東日本大震災被災者の子供を
招待する件

JMA

守ります。美しい日本の山。

あなたの保険は、 安心して登山ができる保険ですか。

救助費用はタダではありません。

■平成21年山岳遭難の概況

(警察庁生活安全局地域課 平成22年6月8日)

発生件数 **1,676** 件

遭難者数 **2,085** 人

死者・行方不明者 **317** 人



詳しくは → www.jma-sangaku.org

お問い合わせは

日本山岳協会 山岳共済会

事務委託：日本山岳協会山岳共済事務センター
月～金 10:00～17:00 (土・日・祝日除く)

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 3-7-11-707

TEL: 03-5958-3396 FAX: 03-5958-3397

E-mail: sangakukyousai@mbd.ocn.ne.jp

- ・制作物の作成について、他
- イ 平成23年度中高年安全登山指導者講習会について
- ・共通講習内容について
- ウ 第50回全日本登山体育大会について

2. その他の重要事項

(3月4日～4月13日)

〔報告〕

- 平成22年度スポーツコーチサミット
3月4日(金) (資料参照)
於：味の素ナショナルトレセン
西谷常任委員、中川事務局員
- 城隆嗣顧問の叙勲受章を祝う会
3月5日(土)
於：K K R ホテル東京
田中会長ほか29名
- 日体協スポーツドクター代表者協議会
3月5日(土)
於：岸記念体育会館講堂
神尾常任委員
- 北海道ブロック研修会
3月5日(土)～6日(日)
於：深川市
寺内常務理事、山本常任委員
- 九州ブロック研修会
3月5日(土)～6日(日)
於：佐賀県 原、松田常任委員
- 中国地区山岳連盟(協会)連絡協議会 3月5日(土)～6日(日)
於：岡山市
粟飯原副会長
- 印西市表敬
3月8日(火)
於：印西市役所
田中会長
- 第65回国体山岳競技会における参加資格違反についての「注意」処分文書来信
3月8日(火)
- 日体協総合企画委員会
3月9日(水)
於：岸記念体育会館 田中会長
- 東北地方太平洋沖地震発生
3月11日(金)
- 日体協・J O C 100周年実行委員会
3月11日(金)
於：岸記念体育会館
田中会長
- 財スポーツ安全協会評議員会・理事会
3月11日(金)
於：東海大学交友会館
田中会長
- J O C 総務委員会
3月15日
於：岸記念体育会館 2階理事・監事室
尾形常務理事
- 日体協・評議員会
3月23日(水)
於：岸記念体育会館 田中会長
- 平成22年度第2回理事会
3月27日(日)
於：岸記念体育会館
田中会長他
- 平成22年度臨時総会
3月27日(日)
於：岸記念体育会館
田中会長他
- 小野寺齊事務局員採用
4月1日(金)
- 内閣府公益認定等委員会事務局への窓口相談

【東日本大地震義援募金協力者ご芳名】

(5月2日現在、敬称略)

400,477円：群馬県山岳連盟、345,185円：山岳スキーチャリティ大会有志一同、169,871万円：福井県山岳連盟、141,000円：山口県山岳連盟、10万円：愛媛県山岳連盟、徳島県山岳連盟、5万円：山梨・高根山岳会、静岡県山岳連盟、岡山山の会、アタラシイカイカイケイカ、3万5千円：宮本義彦、3万円：島根県山岳連盟、29,500円：カエツサンガクカイ、2万円：愛知・山歩の会、鳥取県山岳協会、メイリョウカイサンガク、16,000円：三河くらぶ、1万円：タカハシヨシオ、岳貴山岳会、名古屋山桂会、足立敏則、遠藤家之進正和、堀井啓介、むささび山岳会、白石崇、5千円：川口市山岳連盟、ハスマアツオ、奥野幸道、岐阜登高会、3千円：大阪・白樺クラブ
(総額：2,371,270円)

- 4月4日(月)
於：虎ノ門73森ビル12F
尾形常務理事、小野寺事務局員
- U I A A 登山委員会
4月7日(木)～9日(土)
於：スイス・ベルン
青山副委員長
- 競技部打合せ
4月8日(金)
於：日山協事務局
内藤副会長、寺内、高山、北山、尾形常務理事

3. 議事

- 平成22年度3月常務理事会議事録の承認について(一部加筆にて承認)
- 平成22年度第2回理事会議事録の承認について(提案通り承認)
- 平成22年度臨時総会議事録の承認(提案通り承認)

寄贈図書

●寄贈本●

『ひとり登山へようこそ』 平凡社
『安全登山ハンドブック』羽衣出版
『エベレスト登頂請負人』山と溪谷社
『日本バスケット連盟 80年史』
日本バスケットボール連盟

●雑誌●

『山と溪谷』5月号 山と溪谷社
『岳人』No.767 5月号東京新聞

『CLIMBING JOY』No.6

●会報●

信州大学山岳科学総合研究所
京都府体育協会
兵庫県山岳連盟
三峰山岳会
国立スポーツ科学センター
健康・体力づくり事業財団
熊本国際観光コンベンション協会
日本オリンピック協会
福岡コンベンションセンター
全日本ボウリング協会

大阪府山岳連盟
国立公園協会
日本ゲートボール連合
大崎企業スポーツ事業研究財団
大韓山岳聯盟
新潟県山岳協会
日本武術太極拳連盟
富山コンベンションビューロー
シマノ
日本勤労者山岳連盟
やまびこ山想会
明治大学炉辺会
群馬県山岳連盟

日本山岳写真家協会
国土緑化推進機構
日本山岳会
近畿山岳愛好会
東京野歩路会
HAT-J
大阪市スポーツ・みどり振興協会
パワーリフティング協会

●寄贈DVD●

『平成22年度オリンピック有望選手研修会』

- (4)公益社団法人化に向けた定款(案)について(再度見直しを図り次回常務理事会で再審議)
- (5)副会長候補者推薦の件(提案通り承認)
- (6)日体協・JOC創立100周年功労者表彰の候補者推薦の追加について(提案通り承認)
- (7)ワールドカップ印西大会の開催について(本年度の開催延期で承認)
- (8)報告事項
 - ア 会計月次報告
 - イ 国体東北ブロック大会の開催について
 - ウ 平成23年度自然公園指導員自然環境局長表彰及び指導員表彰候補者の推薦について岡山喜栄作(青森)、小野倫夫(北海道)、宮崎良平(高知)の序列で推薦
 - エ B M C International Summer Climbing Meet (5 / 7 ~ 20)への派遣について小澤信太、大西良治を派遣
 - オ アメリカ・カナダW/C 5 / 25 ~ 6 / 5 S代表の野口啓代、堀創を派遣
 - カ 参与の退会処理について
 - キ 公認山岳指導者(スポーツクライミング)検定基準(暫定版)の刊行について
 - ク 全国高体連登山専門部の高校生の日山協登録について

4. 役員等の派遣について

- (1)ミズノスポーツメントール賞、ミズノスポーツライター賞表彰式

- 4月18日(月)
 - 於：グランドプリンスホテル新高輪 尾形常務理事
- (2)神奈川県山岳連盟代議員会
 - 4月19日(火)
 - 於：県民活動サポートセンター 田中会長
- (3)競技部委員総会
 - 4月24日(日)
 - 於：岸記念体育会館(504・505号) 田中会長、寺内、高山、北山、永井常務理事
- (4)会計監査
 - 4月25日(月)~26日(火)
 - 於：岸記念体育会館(504号) 田中会長、福田、岡本監事、相良、尾形常務理事
- (5)「山の日」制定協議会
 - 4月26日(火)
 - 於：岸記念体育会館(504号) 本木副会長、尾形常務理事
- (6)自然公園財団理事会
 - 4月26日(火)
 - 於：法曹会館 本木副会長

5. 後援、協賛等の依頼について

- (1)第3回ジャパンユースカップの後援名義について(承認)
- (2)第17回クライミング・コンペ・オール神奈川の後援名義について(承認)

6. 報告

- (1)自然保護指導員の承認
 - 北海道 10名、埼玉 7名、東京 18名、神奈川 2名
- (2)指導員の認定承認

①上級指導員

大岡一史、村岡浩二、池本貴浩、城代剛、水廣真紀子、木村政雄(以上、山口)、伊藤裕子(神奈川)

②指導員

大迫淳一、宮森淳一(以上、山口)、市川英治、平林高志、小俣恭子、平塚幸則、佐藤進一、高橋久美子、大島俊男、武田耕治、藤田幸信、和田博文(以上、東京)、芳澤昭仁、青山和宏、内山盡大、中山貞子、薄田久美子、若林誠、橋本一郎、大道正長、佐藤由紀彦、有光泰幸、小川進、真田雅穎、野辺地千代子、澤田春佳、大田和子、松下陽子、石井千賀、長谷川正代、加藤陽子、工藤笑子、浜名三三子、竹川真光、宮西博(以上、北海道)、逢坂誠一郎、澤圭子、水戸通之(以上、神奈川)

③S C主任検定員

福井会場：山森正之、傘木靖、小坂秀己
宮城会場：広島裕士、阿部茂雄、羽鎌田裕子

編集後記

さわやかな五月晴れのもと、決算総会が開催され田中会長が退任されました。10年の長きに亘り、登山界の向上のためご尽力下さり本当にお疲れ様でした。心より、御礼申し上げます。これからは心置きなく四季折々、ご自身の山を満喫して下さいように。

(広報 本木 総子記)

HANDY GPS RECEIVER & LOGGER **ATLAS® ASG-2** 販売価格 12,600円(税込)

GPSでアウトドアをもっと楽しく!

最大5箇所(の)目的地(経路地)が登録可能。事前に休憩場所や寄り道先のポイント設定に活用!

- 位置情報と移動情報を表示・記録(リアルな数値情報とログ機能搭載)



株式会社 ユピテル 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33
お問い合わせ先: アトラス事業部 山下まで TEL 03-3769-1190
<https://atlas.yupiteru.co.jp>
※ご購入は弊社ホームページからアトラスクラブに入会(無料)し、直接購入もできます。

登山月報 第506号

定価 100円(送料別)
予約年間 1,200円送料共

昭和45年12月12日
第三種郵便物認可
(毎月1回15日発行)

発行日 平成23年4月15日
発行者 東京都渋谷区神南1の1
岸記念体育会館内
社団法人日本山岳協会

電話 03-3481-2396
FAX 03-3481-2395